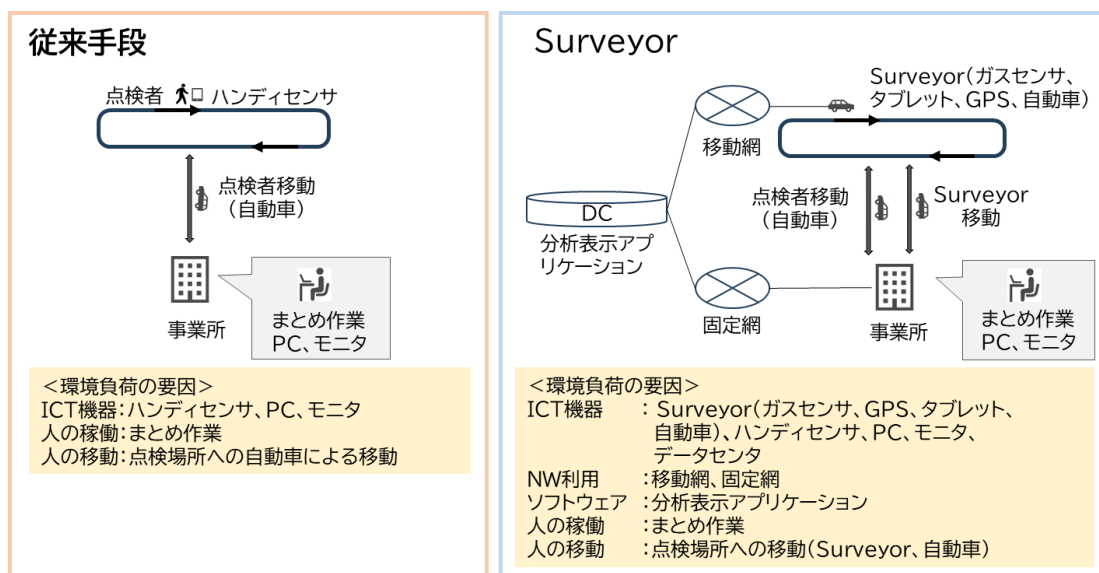


Type II 環境ラベル「AT-ECO」対象商品 Surveyor

モデルと評価

モデル

- 従来手段: 徒歩により、ガス漏れの点検を行う。現地までは車で移動し、ガスセンサを持ち徒歩により点検を行う。
- Surveyor: ガスセンサを搭載した車により点検を行う。クラウド上のアプリケーションによりガス漏れ状況を分析、その結果に基づき、別途点検員が漏洩場所を特定する。

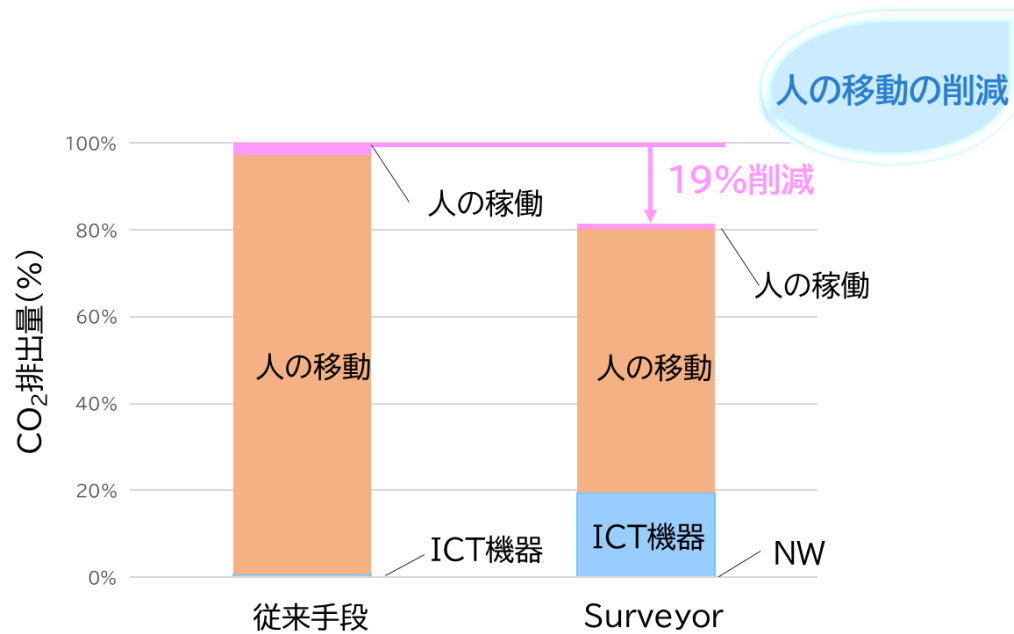


評価条件

- ◆年間 1,500km のガスパイプラインのガス漏れを点検する。
事業所から点検場所までの平均距離: 片道 36km
点検速度: 徒歩 2km/h, 自動車 35km/h
- ◆システム境界
 - ・従来手段: ICT 機器(ノート PC、センサ)の利用、人の稼働(まとめ作業)、人の移動(自動車)
 - ・ Surveyor : ICT 機器(ノート PC、センサ、クラウド)、NW(移動網、固定網)、ソフトウェア(分析表示アプリケーション)、人の稼働(まとめ作業)、人の移動(自動車)

評価結果

◆ Surveyor の利用により点検が効率化され、点検に要する日数が短期間となる。その結果、点検場所への移動回数が軽減し、移動による CO₂ 排出量が削減される結果となった。



※グラフは、従来手段の CO₂ 排出量を 100%として、割合を表しています。